

新潟市文化財保護審議会 第25期第1回会議

意見等集約結果

【会長・副会長の選出について】

事務局案を

承認（11） ・ 非承認（0）

【報告事項について】

<報告事項1について>

- ・日本海側最北の前方後円墳「角田浜妙光寺山古墳」発見の報告（1）は、海岸浸食として知られる地だけに興味深い。[岩田委員]
- ・角田浜妙光寺山古墳の名称は適切だと思います。歴史的な重要性から、市・県の史跡指定、さらには菖蒲塚古墳・山谷古墳などともに群としての国指定が求められると考えます。[坂井委員]
- ・だれかのブログの国土地理院の傾斜量図で発見されたという記事、面白くよみました。大変興味深い発見の仕方です。[山崎委員]

<報告事項2について>

特になし

<報告事項3について>

- ・旧笹川家住宅耐震診断結果は、旧笹川家だけでなく、旧家、神社仏閣等を含めた自然災害対策として目を配る必要を感じた。[岩田委員]
- ・粛々と予算がついて調査されていて何よりです。[山崎委員]

<報告事項4について>

- ・近年の全国的の竹の開花ニュースと併せて鳥屋野の逆ダケの報告（4）は、今後の状況にも注目していきたいと感じた。[岩田委員]
- ・逆ダケの藪の開花に関する経過報告を興味深く読みました。開花現象が今後もしばらく続くようであれば、これを機に SNS 等で発信して広く告知してもよいのではないのでしょうか。[加賀谷委員]
- R元年度はHPや市のSNSで情報発信を行いました。R2、R3年度については開花場所が藪の内部で観察が難しい場所であったことに加え、開花した竹のほとんどが地を這うような竹だったため、広く告知等はいたしませんでした。今後も開花状況によって市民への情報発信を検討いたします。
- ・鳥屋野逆ダケの藪の開花状況について、簡潔にまとめていただき、ありがとうございました。[森田委員]
- ・地道な観察の継続が大事だと思います。[山崎委員]

<報告事項5について>

- ・市外に寄贈された文化財に関しての報告について、所蔵者の高齢化、代替わりで作品資料の移動が

あることはやむを得ないことかと思う。また所蔵者が地元ではなく市外、県外を、より大きな施設、市より県、国の施設への寄贈を考えることもよくあることではある。文化財の保存について、どうしても個人で維持ができない場合誰がそれを担うのか、指定する側としても考える必要があるのかかもしれない。[岩田委員]

<報告事項6について>

・ケヤキは学識や樹木医等の処方箋があるのでしょうか。[山崎委員]

→行人塚の大樫については支え木の再固定のため、今回は特に樹木医等による確認をしておりませんが、山口家の大たぶの木の樹勢回復事業については、森田会長に現地確認をいただくとともに樹木医からの助言を得た上で今回実施した土壌改良を実施しました。

<全体を通じて>

・実際に報告事項の案件等を確認の上、判断させていただきたいと思います（特に遺跡、建造物、庭園は必要かと考えます）。[浅倉委員]

・R2年度から全く会議の開催がなく、そろそろリモート形式でも仕方ないので開催をご検討ください。[浅倉委員]

→これまでは市の感染症対策方針等により、会議の開催を見合わせるとともに、今回の会議についても書面開催とさせていただきましたが、次回会議は対面形式もしくはリモート形式での開催を予定しております。

・充実した委員の人選なので、直接に意見交換したく存じます。[浅倉委員]

・文化財行政におかれましては、今後とも指定・保全と、市民への情報発信・利活用を両輪としてすすめていただければと思います。[栗田委員]

・災害が続く中、防災や被害対応はこれからますます重要になるかと思っています。[松岡委員]